

## 「龍北中学校の島ユムタ 伝承活動の取組」

### 1 学校名

龍郷町立龍北中学校

### 2 学年・人数

1 学年（6人） 2 学年（4人） 3 学年（2人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

令和3年5月～10月

総合的な学習の時間（龍北中学校）

物語作り，シマグチ指導，シマグチの劇指導 など

令和3年7月10日（土）

地域の方を招いてのシマグチ指導

#### (2) 発表の日時・場所

令和3年11月3日（水）

荒波タイム発表会（本校体育館）

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

#### (1) 名称

島ユムタ（しまゆむた）

#### (2) 由来

奄美大島の各地域で古来より使われている方言は，古事記や万葉集に出てくる古語が今も使われ，発音にも大きな特徴がある。奄美大島では，「シマグチ」「シマユムタ」「シマクトゥバ」と呼ばれている。このシマユムタを流暢に話せるのは，今やお年寄りや限られた人たちとなっており，未来を担う若者たちへの伝承が重要な課題である。

#### (3) 構成等

本校区には，安木屋場（あんきやば），円（えん），嘉渡（かど），幾里（いくさと），秋名（あきな）の5つの集落があり，方言は少しずつ違っている。それぞれの集落の伝統行事を題材とした劇のシナリオをつくり，それをシマグチで演じている。

### 5 保存会や地域との連携の具体

まず，各集落にある伝統行事を題材に生徒がオリジナルの劇（年度ごとに取材する集落が変わる）をつくる。その際，伝統行事について詳しい，各集落の高齢者に生徒が直接，取材を行った。さらに，取材をもとに生徒が作成したシナリオを，島ユムタ校外活動として，各集落の公民館にて，老人クラブの方々を指導者に招き，シマグチのシナリオに直していただいた。このような活動については，事前に各集落区長や老人クラブ会長と連携を図り，指導者を紹介していただいている。

### 6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

島ユムタ伝承活動は，平成16年から本年度で18回目となる伝統的な取組である。これまで，生徒の興味・関心の高い題材をもとに劇を作っていたが，地域の方々から地域の伝統行事を題材にシマグチの劇を作れば，地域を知るよい機会になるのではないかという提案を頂いた。そこで，平成28年度から各集落にある伝統行事や昔話を題材に劇を作ることにした。本年度は，秋名・幾里集落に伝わる伝統行事や文化を題材に劇を作り上げた。指導をいただいた方々をはじめ，保護者，地域の方々を学習発表会（「荒波タイム発表会」）に招いて感想をいただいた。

## 7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



シマグチの指導 1



シマグチの指導 2



荒波タイム発表会



荒波タイム発表会

## 8 参加生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

### 【生徒】

- ・ とても緊張したけれど、その場に合わせた動きを取り入れることもできたのでよかったです。
- ・ シマグチで劇をすることを通して、秋名・幾里集落にはどんな歴史や文化があったのかを知ることができ、良かったです。
- ・ 島口が難しかったけれど、みんなと協力しながらすばらしい劇をつくることができ、良い思い出になりました。

### 【職員】

- ・ 島ユムタ劇に取り組むことを通して、地域の方々と交流しながら郷土の歴史に触れることができ、大変意義深い学習活動になった。消滅の危機にある島口を地域の方に指導していただき、郷土について学習した成果を地域に発表することは、本校の生徒が文化を継承する主体であることを地域の方に知っていただく機会にもなった。

### 【地域・保護者】

- ・ 龍北中の伝統である島ユムタ劇，今年も良かったです。
- ・ 台詞に加えて，イントネーションも上手にできていてビックリしました。
- ・ 劇は長編でセリフを覚えるのが大変だったろうなあと思いつつ，一生懸命な様子が伝わり，感動しました。